

作成番号:0315

一般社団法人 日本侵襲医療安全推進啓発協議会 「会員向けメールマガジン」

号数:2025-315

内容:よく料理をする人ほど、非喫煙者の肺がん発症リスクが高い

出典:Relationship between household air pollution and lung cancer in never smokers in high-income countries: a systematic review.

BMJ open. 2025 Jun 20;15(6);e093870. pii: e093870.

<https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/40541430/>

肺がんの約 25%が非喫煙者に発症すると推定され、低中所得国では非喫煙者における肺がんの環境リスク因子、とくに暖房や調理用バイオマスの燃焼による家庭内空気汚染が広く調査されてきた。家庭内空気汚染が非喫煙者における肺がんの潜在的な原因であるというエビデンスが蓄積され、空気中の粒子状物質、家庭用家具から発生する揮発性有機化合物、調理煙への曝露が肺がんリスクを高める可能性がある。今回、英国・レスター大学の研究者らが、調理煙への曝露と非喫煙者の肺がんとの潜在的関連について高所得国で検討し、その関連性を、BMJ Open 誌 2025 年 6 月 20 日号発表した。

Embase、Scopus、Cochrane library、CINAHL をその開始時から 2024 年 3 月まで検索し、症例対照研究を対象に系統的レビューを実施した。解析には 3 件の研究の計 3,734 人が含まれた。すべての研究は台湾または香港で実施され、伝統的な中華料理の調理法を用いる中国人女性が対象であった。生涯の調理煙への曝露を測定する「調理時間・年」によって肺がんリスクを評価し、曝露が最高レベルの場合の OR は 3.17 (95%信頼区間[CI]:1.34~7.68)であった。調理煙への曝露の指標として「調理皿・年」を使用し、曝露が最高レベルの場合の OR は 8.09 (95%CI:2.57~25.45)であった。一方、調理年数よりも毎日の調理皿数のほうがリスク指標として重要であることが示され、1 日 1 食調理する女性に対する 1 日 3 食調理する女性の OR は 3.1 (95%CI:1.6~6.2)であった。換気フードは非喫煙者の肺がんの予防効果があり、調整 OR は 0.49 (95%CI:0.32~0.76)であった。

以上から、1 日 1 食調理する女性に対し 1 日 3 食調理する女性の肺がんのオッズ比 (OR) は 3.1 と発症リスクが高かった一方、換気フード使用の OR は 0.49 と予防効果が示唆された。

